

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、新しい年を健やかに迎えられましたこと、お喜び申し上げます。旧年中は、地域の皆様方、地域の各種関係団体の皆様方、行政関係各位の皆様方から温かいご支援、ご協力を賜り、職員一同心より厚く御礼申し上げます。

2018年がスタートしました。2018年度介護保険法の一部改正については、地域包括ケアシステムの強化を主とし、①要介護状態の改善などに応じた保険者への財政的な支援、②介護療養病床などに代わる介護医療院の創設、③障害福祉サービスを一体的に行う共生型サービスの創設、④現役並み所得のある利用者の3割負担導入、⑤40～64歳の保険料計算に総報酬割を段階的に導入の5つの柱で構成されています。今後は、市町村間で介護における格差、高齢者・障害者それぞれに介護の内容が異なることによる専門職の確保、サービスの質の低下に関する懸念など、多くの不安と課題があるかと思えます。その様な、制度改正の中でも、ここ昭島市で、東京都第一号の特養を併設している社会福祉法人同胞互助会を母体を持つ昭島市西部地域包括支援センター愛全園と致しましては、様々な課題に対して前向きに取り組んで参りたいと思えます。

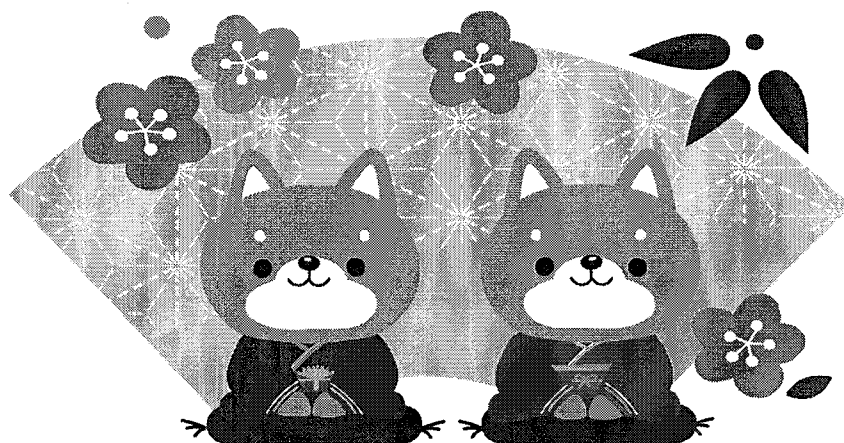
2018年の干支は戌年。戌年の言い伝えには、「食べ物に困らない」「道に迷わない」などがあります。皆様のご健康とご多幸、そして益々のご発展をお祈り申し上げます。

今年も、より一層のご支援を賜りますよう、従業員一同心よりお願い申し上げます。

敬具

平成30年1月

西部地域包括支援センター 愛全園
所長 丸山 和代



冬の火事を防ぎましょう!!!

【質問】 火災の原因として一番多いストーブは？

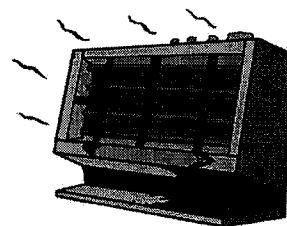
- ① 石油ストーブ ② ガスストーブ ③ 電気ストーブ

都民へのアンケートでは、火災発生の危険性が高いと思う暖房器具は80%の人が「石油ストーブ」と答えています。続いて「ガスストーブ」「電気ストーブ」の順となっています。

しかし、実際に多くの火災の原因となったのは.....

【答え】 電気ストーブです！

平成27年中で、ストーブから出火した住宅火災の6割が電気ストーブ（カーボンヒーター、ハロゲンヒーター等含む）が原因です。電気ストーブは給油等の手間がかからないことから手軽で安全にみえますが、あやまった使い方をすると危険です。火災を防ぐポイントを再確認し、尊い命を守りましょう。



火災を防ぐポイント（電気ストーブ編）

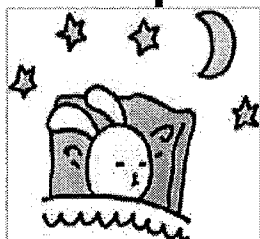
【電気ストーブの周りに、物を置かない！】

布団、衣類、雑誌などの可燃物をストーブのそばに置かないようにしましょう。また、ストーブの上や近くで洗濯物を乾かさないようにしましょう。



【寝る時、離れる時はスイッチを切る習慣を！】

電気ストーブ火災は、夜明けから明け方にかけて最も多く発生。寝返りなどで布団がストーブに接触するおそれがあります。寝る時はスイッチを切り、使用しない時は電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。



【電源プラグや電源コードの清掃・点検を！】

電源プラグにホコリがたまらないようこまめに掃除しましょう。転倒オフスイッチ等の安全装置がついているかを確認しておきましょう。

